

100 億の未来へ——声を力に、仕組みを変える成長を

株式会社サンフーズジャパンに関わるすべての皆さまへ。

平素より格別のご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

私たち株式会社サンフーズジャパンは、第 42 期を「変革の一年」と位置づけ、挑戦を重ねてまいりました。その結果、上期業績は計画を上回り、特に製造部を中心とした全従業員の努力が確かな成果として結実いたしました。

全工場がお客様からの大幅な増産依頼に対して、当初計画以上の生産を達成できたことは、会社全体の生産性向上に大きく貢献しました。

歴史的な高稼働の中で力を尽くしてくれた従業員に、心から感謝しています。

今年初めには、食品安全文化の更なる醸成を目的として、FCP 食品安全文化ツール^{注1}を活用した社内アンケートを実施しました。食品安全や品質方針が現場に確実に浸透し、行動につながっているという強みが確認できた一方、設備面の改善、不具合時対応の負荷、ルール遵守に伴う業務量増大、人員配置やキャリア形成、製造記録の多さなど、組織として向き合うべき課題も浮かび上がりました。これらは現場から寄せられたリアルな声であり、当社が次のステージへ進むための重要な指針です。

42 期下期は、既存のやり方にとらわれず、従業員の声、そしてお客様からの声を起点に業務・仕組み・環境を総点検し、改善を一つずつ形にしていく期間と位置づけています。

そしてこの度、当社は中小企業庁が掲げる「100 億宣言」にエントリーいたしました。これは単なる数値目標ではなく、中小企業が本気で成長し、従業員・取引先様・地域社会とともに豊かになる未来を実現するための覚悟の表明です。私たちが目指すのは、現場に負担を強いる成長ではなく、仕組みを変えることで持続的な成長を実現することです。

今後もサンフーズジャパンは、食品安全・品質・製造技術・人材育成のすべてにおいて、より高いレベルを目指し、ステークホルダーの皆さまと共に未来を創ってまいります。

引き続き、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※注1 農林水産省のフード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）が提供する、従業員の食品安全に対する意識や行動を可視化するアンケート型の診断ツール。

令和 8 年 10 月 1 日

吉田武史